

2025年度 お客さま本位の業務運営に関する取組状況

秋田銀行では、「お客さまの思い描く将来の実現を、生涯にわたって支えるライフパートナーになる」という考えのもと、お客さまの資産形成、運用関連業務に関する方針として「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定し、実践しております。この取組みを表す指標〔KPI(注)〕と結果については、年度ごとに公表しております。

(注) KPI…「Key Performance Indicator」の略称



取組方針に基づく主な取組み

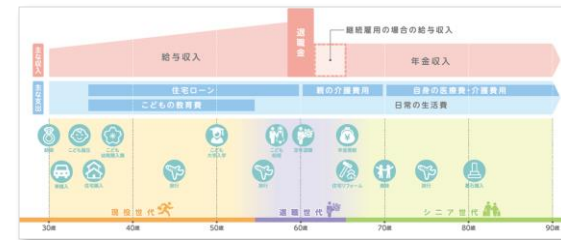
	取組方針	主な取組み（概要）
1	お客さまの最善の利益の追求	• 「お客さまの最善の利益」の考え方 • 中長期分散投資を軸としたお客さま本位のライフコンサルティング • 「資産をまもる」「次世代につなぐ」に向けたライフコンサルティング
2	利益相反の適切な管理	• 利益相反の適切な管理
3	手数料等の明確化	• ご負担いただく手数料イメージとご提供するサービス
4	重要な情報の分かりやすい提供	• 重要情報シートの活用 • 金融商品比較マップの活用
5	お客さまにふさわしいサービスの提供	• 商品ラインナップ整備 • フォローアップ • お客さま本位の業務運営にかかるモニタリング • リスク性金融商品の販売にかかるモニタリング • 資産形成をサポートする積極的な情報発信 • お客さま接点の拡充と利便性の向上
6	職員に対する適切な動機づけの態勢	• お客さま本位の業務運営定着に向けた人材育成 • 業績評価体系 • コンサルティング力の向上

取組方針と取組みを表す指標【KPI】

取組方針	主な取組み	指標【KPI】
お客さまの 最善の利益の追求	「お客さまの最善の利益」の考え方 - 中長期分散投資を軸としたお客さま本位のライフコンサルティング 「資産をまもる」「次世代につなぐ」に向けたライフコンサルティング	①お客さま満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3 ②お客さま本位の取組方針の説明回数・・・・・・・・ P 4 ③ライフコンサルティングツール利用率・・・・・・・・ P 4 ④ポートフォリオ提案ツール使用率・・・・・・・・ P 4 ⑤預り資産保有残高および預り資産契約者数の推移・・・・ P 5 ⑥投資信託保有顧客数・平均保有年数・・・・・・・・ P 6 ⑦積立投信契約者数・積立投信振替額・・・・・・・・ P 7 ⑧NISA口座数および残高・iDeCo契約口座数・・・・ P 8 ⑨投資信託の運用損益別顧客比率(共通KPI)・・・・ P 9 ⑩外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率(共通KPI)・・・・ P 10
お客さまに ふさわしいサービスの 提供	- 商品ラインナップ整備 - フォローアップ - お客さま本位の業務運営にかかるモニタリング - リスク性金融商品の販売にかかるモニタリング - 資産形成をサポートする積極的な情報発信 - お客さま接点の拡充と利便性の向上	⑪投資信託商品の取扱数および新規取扱い・取扱い中止の実績 ・・・・・・・・ P 14 ⑫保険商品の取扱数および新規取扱い・取扱い中止の実績 ・・・・・・・・ P 14 ⑬投資性商品の販売上位商品・・・・・・・・・・・・ P 16 ⑭投資信託預り残高上位20銘柄(共通KPI)・・・・・・ P 17 ⑮投資信託のリターン実績(コスト・リターン)(共通KPI)・・ P 18 ⑯投資信託のリターン実績(リスク・リターン)(共通KPI)・・ P 19 ⑰外貨建一時払保険のリターン実績(コスト・リターン)(共通KPI) ・・・・・・・・ P 20 ⑱マネー講座セミナー実施数・・・・・・・・・・・・ P 21
職員に対する適切な 動機づけの態勢	- お客さま本位の業務運営定着に向けた人材育成 - コンサルティング力の向上	⑲FP技能士資格保有者数・・・・・・・・・・・・・・ P 22 ⑳スキルランク別行員割合・・・・・・・・・・・・・・ P 23

「お客さまの最善の利益」の考え方

- 秋田銀行は、お客さまの生涯にわたるパートナーを目指しています。
- 幅広い年齢層のお客さまに対して、ライフイベントやライフプランなどに応じたアドバイスとともに商品やサービスを提供し、豊かな暮らしをサポートすることが、「お客さまの最善の利益」につながるものと考えております。



お客さまの最善の利益を追求する行動

- お客さま本位の業務運営取組方針・行動計画を企業文化として定着させるため、お客さまにふさわしいサービス提供プロセスをまとめた「ライフパートナー営業ガイドライン」を制定しております。
- 従業員向けの各種研修で周知し、お客さまの最善の利益を追求する活動を行っております。



お客さま満足度

- お客さま満足度を把握するため、定期的にお客さまアンケート（NPS）を実施しております。
- 2025年度のNPS評価は前年度に引き続き、最上位の「A」評価となりました。
- お客さまに寄り添い、お客さまの資産形成に貢献しようとする姿勢を高く評価していただいたことと捉え、さらなる業務改善に向け高い評価をいただけるよう努めてまいります。

2025年度アンケートの結果 回答者数：686名

2025年度調査では、2025年度10月～12月中に店頭（渉外を含む）で金融商品※をご購入いただいたお客さまを対象として実施いたしました。

※対象のお取引は、投資信託（口座開設、一括ご購入、積立投信の新規ご契約）および生命保険の新規ご契約

NPS 評価	2020 年度	2021 年度	2024 年度	2025 年度
	A	A	A	A

NPS とは？	ご家族やご友人から相談を受けた際、ご自身の弊行担当者をすすめたいか、0～10段階で評価していただく指標です。「すすめたい」(9～10点)の割合から、「すすめたいと思わない」(0～6)の比率を差し引いて算出します。 NPSカテゴリ(A:25以上、B:10～24、C:0～9、D:0未満)
---------	---

中長期分散投資を軸としたお客さま本位のライフコンサルティングプロセス

- 秋田銀行では、お客さまの資産状況・取引経験・知識・取引目的を踏まえ、ライフプランにおいてどのような目標（ゴール）をお持ちであるか丁寧にうかがいしながら、お客さまのニーズにふさわしいサービス・商品をご提供しております。
- コンサルティングを提供するにあたり、お客さま本位の業務運営の方針やご提供するライフコンサルティングサービスの内容を分かりやすくご理解いただくため、情報提供資料「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を用いてご説明しており、2025年度は、預り資産に関する情報提供実施先19,100先のうち、11,746先に対して取組方針の説明を実施いたしました。（実施率61.5%）
- また、中長期的に安定した資産形成・運用のご支援に向けて、コンサルティング担当者へのライフコンサルティングツール（QUICK・QADNavi）の活用定着に取り組んでおり、2025年度はライフコンサルティングツール利用率86.9%（利用者数251名）、ポートフォリオ提案ツール利用率97.9%（利用者数283名）となりました。

「資産をまもる」「次世代につなぐ」に向けたライフコンサルティング

- 2025年7月からお客さまへの情報提供の充実を目的として、情報提供ツール「大切な資産のまもり方・つなぎ方」の活用を開始しました。
- 本ツールでは、「資産をまもる」「次世代につなぐ」をテーマに、人生100年時代を見据えた資産管理や相続・資産承継など、将来にそなえるための情報をわかりやすく提供させていただきます。
- 秋田銀行では、今後も人生100年時代への備えをはじめ、多様化しているお客さまニーズにお応えできるように情報提供の充実に取り組んでいきます。

【お客さま本位の業務運営に関する取組方針】



【ライフコンサルティングツール】



【ポートフォリオ提案ツール】

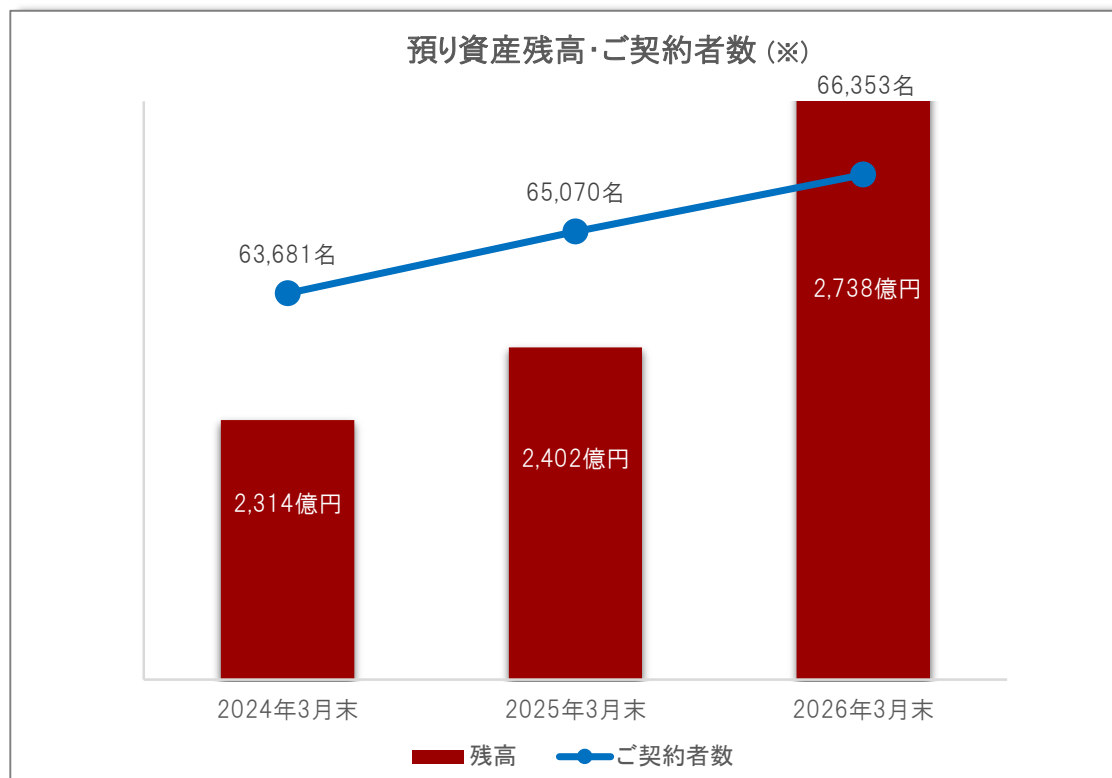


【情報提供ツール】



預り資産保有残高および預り資産契約者数の推移

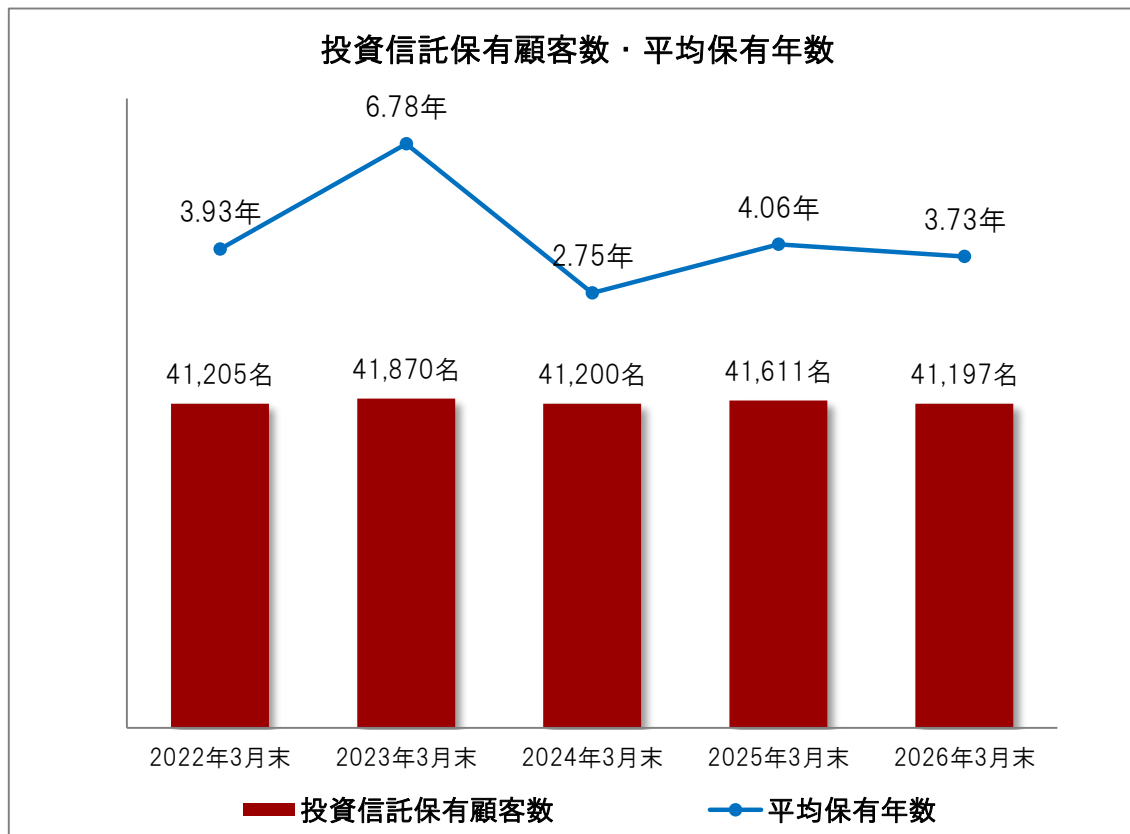
預り資産残高および預り資産契約者数は、金融市場への関心の高まりを背景に資産運用を始めるお客さまが増えたため、前年度比増加となっております。



※投資信託、生命保険および公共債を合算しております。

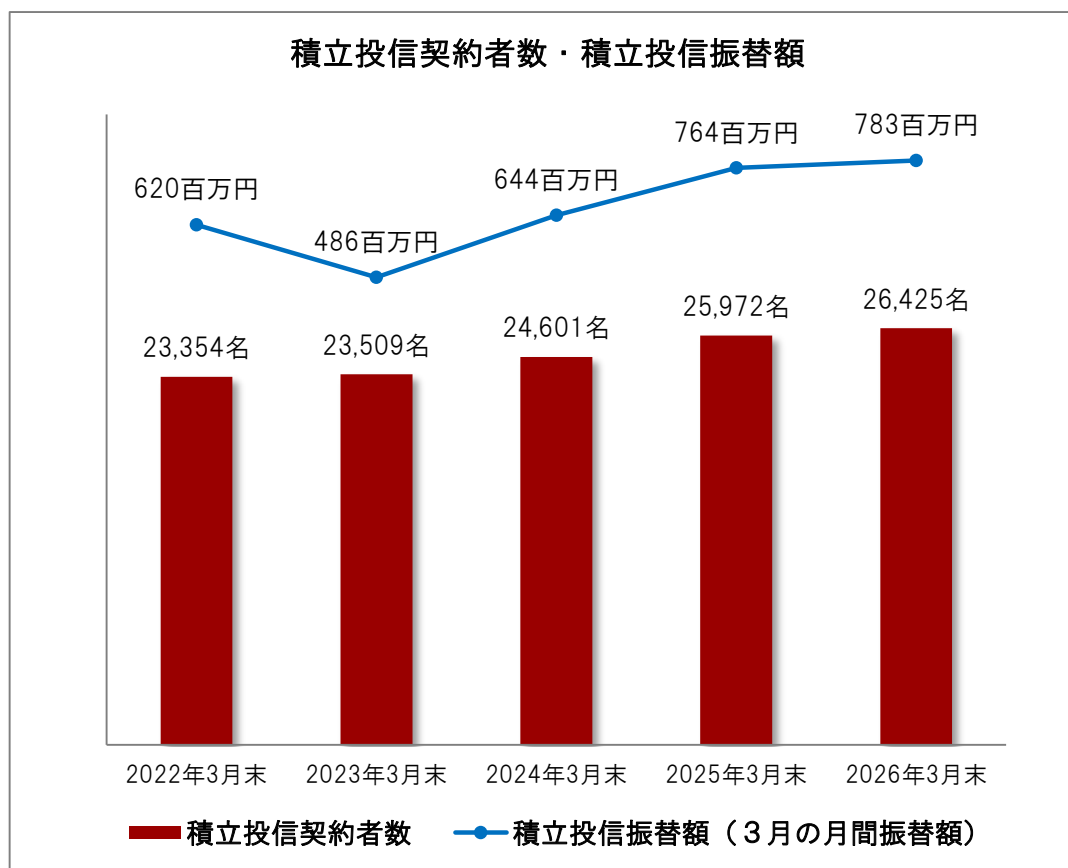
投資信託保有顧客数・平均保有年数

投資環境の改善により運用成果が向上したことを主因に、お客様の資産状況やライフプランに応じた利益確定・資産活用のご相談が増加し、一括購入されるお客さまを中心に投資信託保有顧客数は減少、平均保有年数は短期化しております。



積立投信契約者数・積立投信振替額

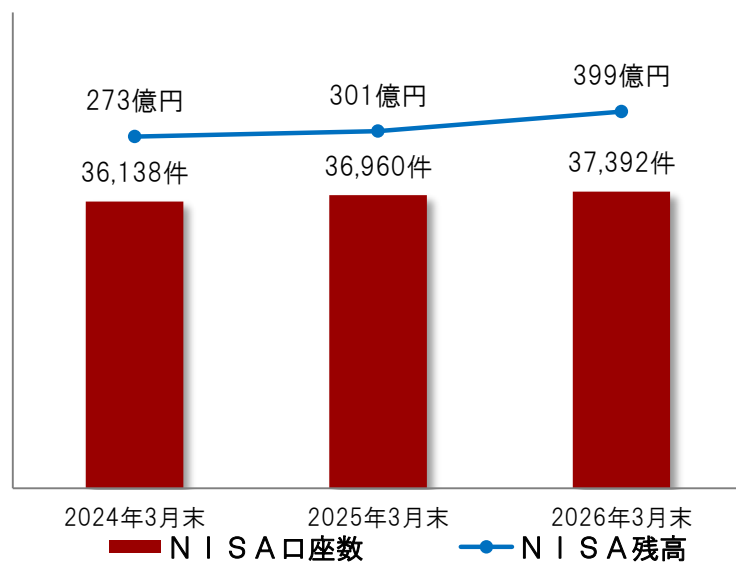
将来に向けた資産形成ニーズの高まりに加え、金融セミナー等による情報提供を通じて長期的な資産形成への理解が深まり、資産形成層を中心に新たにつみたて投資を始められるお客さまが増えていることから、積立投信契約者数および積立投信振替額は前年度比増加しております。



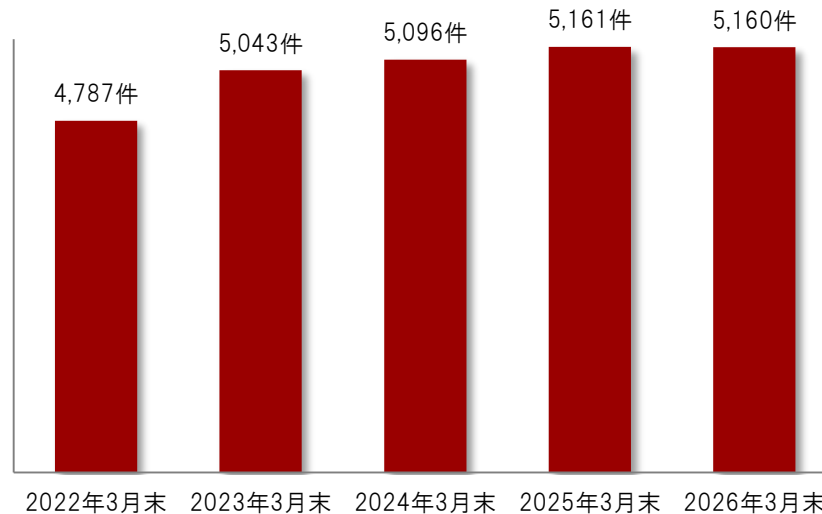
NISA口座数および残高・iDeCo契約口座数

- 非課税制度を活用した資産形成が広く定着し、お客様の長期・積立・分散投資への関心が高まったことから、NISA口座数およびNISA残高は前年度比増加しております。
- iDeCoについて、2026年2月から商品ラインナップの拡充および利便性向上によりお客様の資産形成を支援するため、新規受付業務を損保ジャパンDC証券㈱が提供するサービスの仲介に変更しております。
- それにもない「秋田銀行個人型プラン」の新規募集は停止したため、2026年3月末のiDeCo口座数は前年度から減少しております。

NISA口座数およびNISA残高

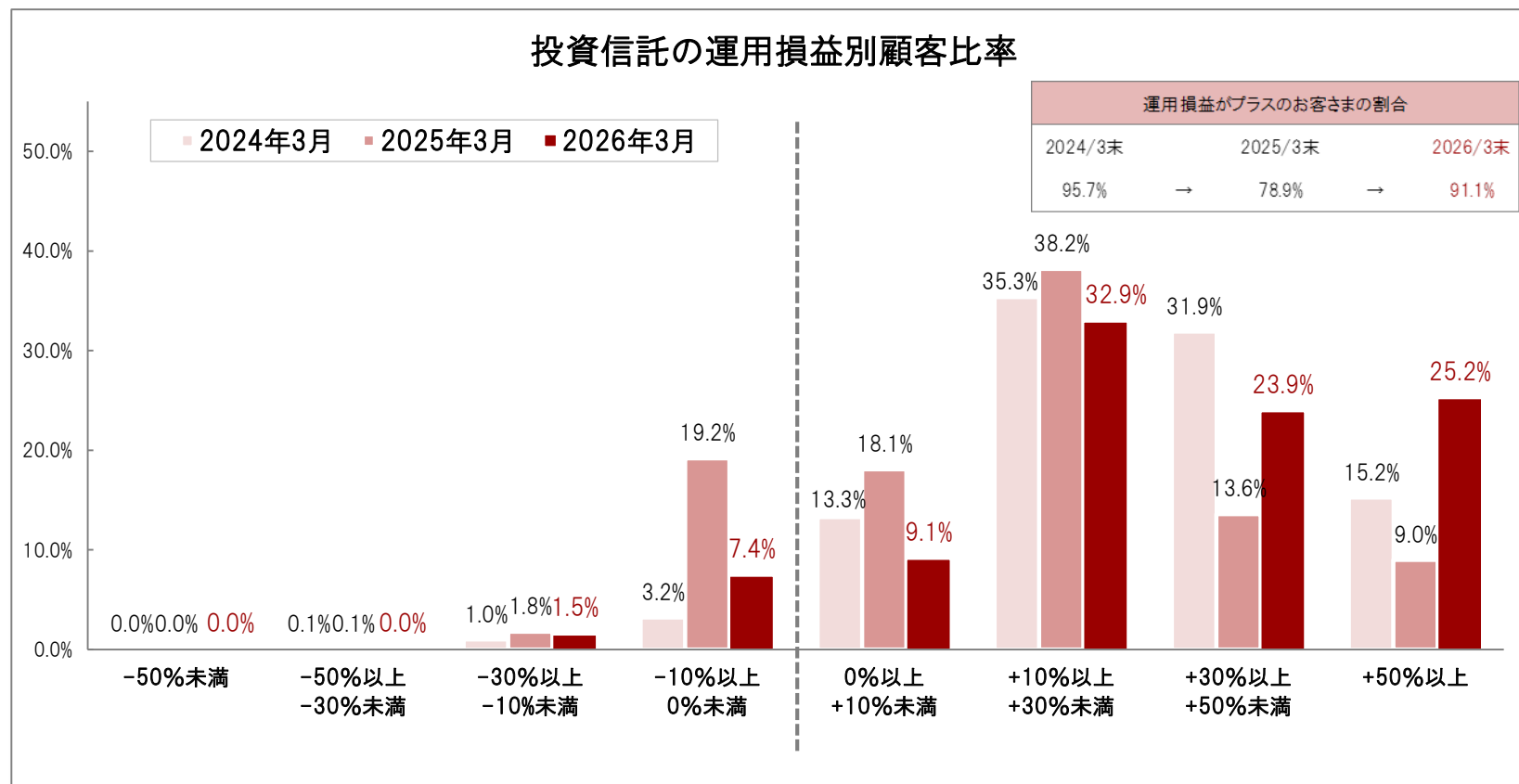


iDeCo「秋田銀行個人型プラン」
契約口座数



投資信託の運用損益別顧客比率

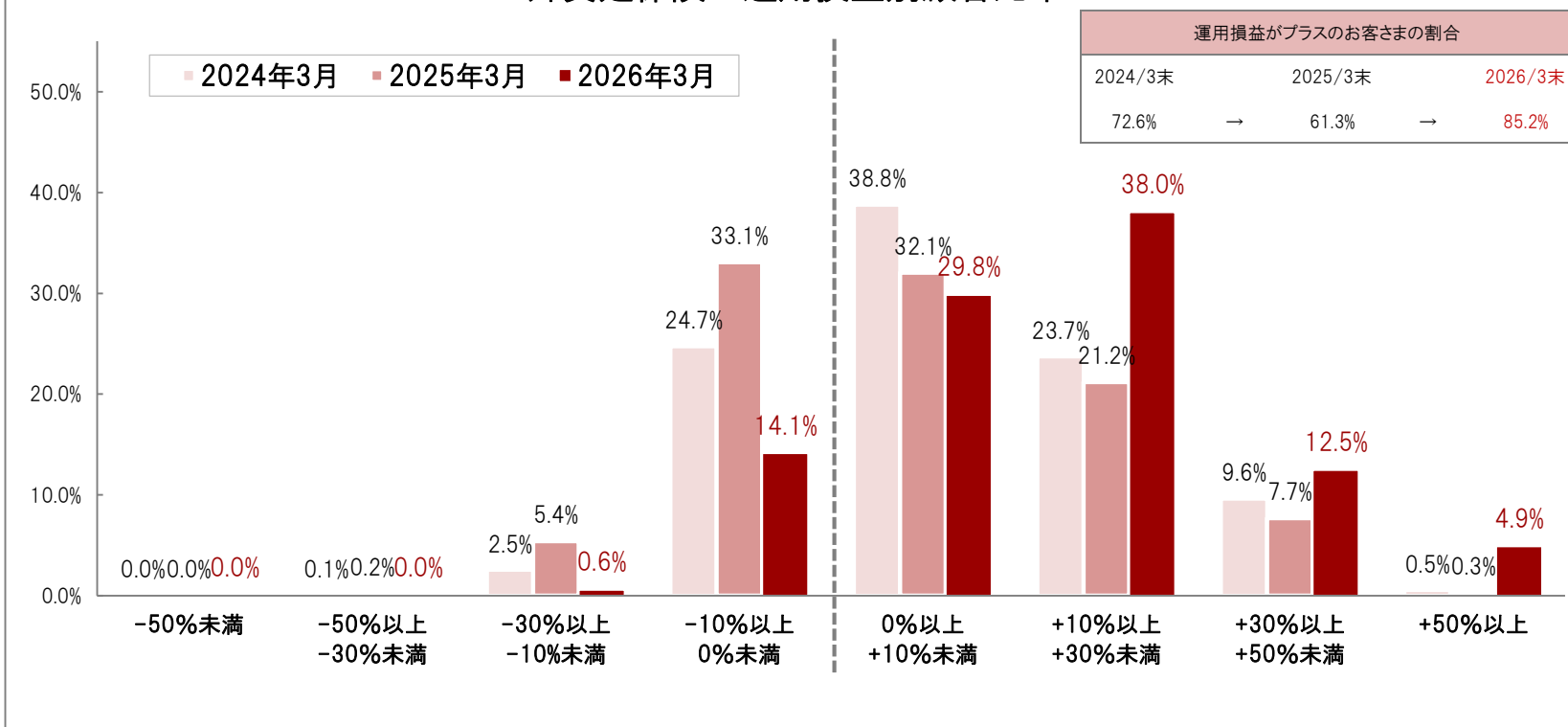
2026年3月末で投資信託を保有されているお客さまのうち、運用損益がプラスとなっているお客さまの割合は91.1%となっております。株価上昇や為替相場の変動による良好な運用環境に加え、お客さまの長期的な資産形成の取組みが運用成果につながったことから、前年度比では増加しております。



外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率

2026年3月末で外貨建保険を保有されているお客さまのうち、運用損益がプラスのお客さまの割合は85.2%となっております。海外金利や為替相場の変動により、前年度比では増加しております。

外貨建保険の運用損益別顧客比率



利益相反の適切な管理

- 利益相反とは、秋田銀行（秋田銀行のグループ会社を含む）とお客さまの間でお互いの利益が相反する状況をいいます。
- お客さまへ提供する商品が特定の運用会社や保険会社に偏らず、手数料に影響されない品揃えとなるほか、お客さまの資産運用ニーズ、保険活用ニーズにお応えするため、適切な商品を取り揃えております。
- 秋田銀行は、同一グループ内に投資信託その他金融商品の運用会社や提供会社がないため、お客さまへの金融商品の勧誘販売に際して、同一グループ内の利益を優先するなど、お客さまの利益を不当に害するような利益相反は発生しません。

ご負担いただく手数料イメージとご提供するサービス

- 金融商品のご提供にあたり、お客さまから手数料をいただく場合や、お客さまにご負担いただく費用とは別に、金融商品の提供会社から販売代理店手数料等を受け取る場合があります。
- 手数料については、金融商品のご提供にあたって必要となる、商品の開発・選定、提案資料等の作成、アフターフォローまで含めたコンサルティングサービスのご提供、お客さまに安心してご利用いただけるシステムなどの費用を総合的に勘案して設定しております。
- お客さまからいただく手数料やその他の費用に関しましては、重要情報シート（個別商品編）、目論見書、契約締結前交付書面等でご提案の際に分かりやすくご説明しております。
- 投資信託の販売につきましては、「投資信託ご購入提案書」を活用し、実際の購入手数料の総額や運用管理費用（信託報酬等）の手数料率等のお客さまが負担するコストをご説明しております。

【重要情報シート（個別商品編）】
費用記載欄

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	お申込価額に2.2%（税抜2.0%）の手数料率を乗じて得た額とします。 なお、お申込手数料には消費税がかかります。
継続時に支払う費用 (信託報酬など)	実質的な運用管理費用：最大年率1.7875%（税抜1.625%）程度 ※投資先ファンドの組入状況により変動 その他費用・手数料が実費で、法定書類作成等の事務費用が年0.055%（税込）を上限として計上されます。
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用」の項目に記載しています。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・この投資信託に〇〇万円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。
- ・費用がより安い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。

【投資信託 ご購入提案書】

投資信託・ご購入係数表		2026年06月26日
ビンク・ゴールド・リスクプレミアム・ファンド ～愛称:ピンクユー～		
ファンドの特色 複数の投資信託証券への投資を通じて主に日本を含む世界の株式、債券、不動産への投資を行う。投資信託証券への投資にあたっては、世界の市場環境に応じて戦略的な337*147が中心となる資産を構築し、配分比率の決定的な役割を行う。投資信託証券を通じて間接的に海外への外貨露出を図る。主観的*2の先行きとが主である。		
お申込みに係る重要事項 ※ファンドの主なリスク 外国株式への投資リスク 為替リスク 金利リスク 流動性リスク 信用リスク 政治的・経済的リスク 自然災害リスク		
※外国株式への投資重要事項については、募集の「当ファンドの主なリスクと重要事項」をご覧ください。		
※為替の急激な変動により、本投資信託の運用資産価値が変動する可能性があります。また、本投資信託は継続する者と利用した情報等に基づいて秋田銀行が作成しましたが、正確性、完全性を保証するものではありません。運用成績に関する「投資・発注数量および分配金数量」も過去の成績であり、将来の成果を約束するものではありません。		
※本資料の投資目的についても、お申込で記載されているものと一致しない場合があります。		
参考基準額 (1万人あたり) 1,000,000円 ※1万円以上1万円単位で記載します	22,203円 (2026年6月25日現在)	●定期預金 無期限 ●定期預金 06/15(日)まで ●申込信託額 申込日の投資買入の基準総額となります。 ●購入手数料率 2.25%(税込) ●申込(発注)の上限額 ありません。 ●定期預金保有期間 ありません。 ●運用買付手数料(投資信託) 投資買付の投資信託報酬率年率1.177%(年率換算)の税込額にあてて引き落とす。ファンドの実際の投資信託報酬率の輸入が入りてより変動します。 ※上記のほか、委託手数料、委託信託金運用費の投資信託手数料、購入資産の投資買付費用をファンドの投資信託金を通じて間接的に負担いたします。
購入手数料 購入手数料率(2.00%) 購入手数料率の消費税	21,565円 1,956円	●申込信託額 申込日の投資買入の基準総額となります。 ●定期預金 フラットに投資買付手数料率の合計額(上記基準で計算)が決定するまで、その期間等をもって引き落とすこととなります。
定期入金額 定期入金回数・購入手数料+消費税	978,475円	
投資購入収入 定期投資購入・参考基準額	440,695円	
※定期投資購入は、最初の投資買付より、申込日の投資買付に限りは元金、投資買付の口数に、あてて運用の参考基準額で計算した口数であり、申込日の定期入金額ではありません。 ※ご購入いただく方の定期購入額に、お申込日の投資買入の基準総額が加算されます。		

重要情報シートの活用

- 商品の特性やリスク、手数料等の重要な情報をお客さまに分かりやすく提供し、金融商品の比較を容易にするため、重要情報シート（金融事業者編）・（個別商品編）を活用しております。
- 投資信託や生命保険など、複雑またはリスクの高い商品をご提案する場合は、お客さまの投資経験やリスク許容度等を踏まえ、取扱商品について、分かりやすい説明を行います。
- 商品の特性・リスクを踏まえ、お客さまにとってふさわしくない場合には、ご提案を控えさせていただいております。

金融商品比較マップの活用

- 「金融商品比較マップ」を活用し、お客さまのご意向やライフプランに応じて、当行で取扱いのある金融商品の特徴、リスク、費用等をわかりやすくご案内しております。資産形成、資産活用、認知症・介護への備え、相続対策など、目的に応じた商品選択をご支援し、お客さまにご理解・ご納得いただけるよう丁寧な情報提供に努めております。

【重要情報シート】
（金融事業者編）



【重要情報シート】
（個別商品編）



【金融商品比較マップ】



商品ラインナップの整備

- お客さまの想いや課題解決およびニーズに対して適切な情報提供を行い、最良の未来を実現することを目的に商品を選定しております。また、商品の組成会社との情報連携を強化し、定期的に検証を行っております。
- 商品選定基準にもとづき、商品導入後も運用状況や商品性を事後検証し、必要に応じて商品の見直しを実施しております。

投資信託商品の取扱数および新規取扱い・取扱い中止の実績

投資対象	取扱数(2026年3月末)		2025年3月末からの増減		
		比率		新規取扱 (+)	取扱い中止 (▲)
国内債券	1	2.2%	-2	0	2
国内株式	6	13.0%	-2	1	3
海外債券	6	13.0%	-6	0	6
海外株式	20	43.5%	1	2	1
バランス	8	17.4%	-9	1	10
国内リート	2	4.3%	-1	0	1
海外リート	2	4.3%	-2	0	2
コモディティ	1	2.2%	0	0	0
合計	46	100.0%	-21	4	25
(うちIB専用)	17	37.0%	0	0	0

* 秋田銀行は金融商品の組成には携わっておりません。

保険商品の取扱数および新規取扱い・取扱い中止の実績

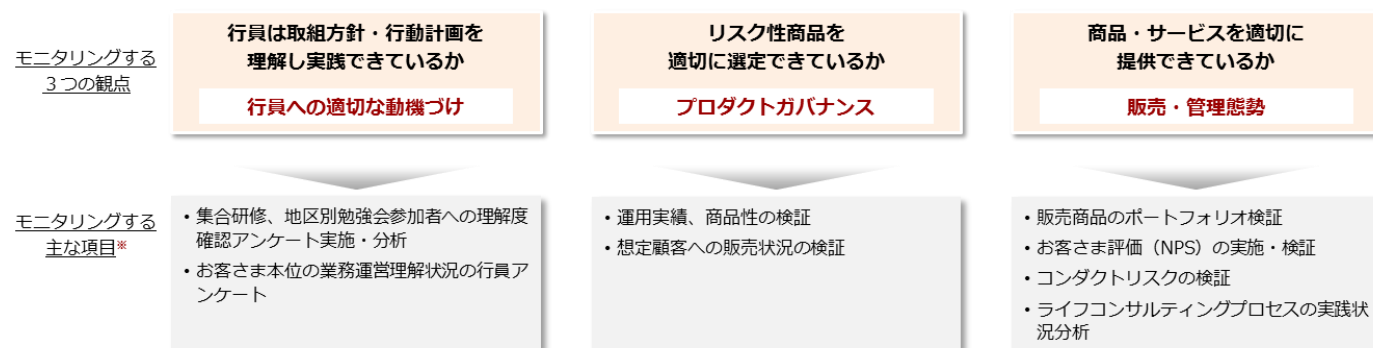
商品種類		取扱数(2026年3月末)		2025年3月末からの増減		
			比率		新規取扱 (+)	取扱い中止 (▲)
一時払	円建	12	48.0%	3	4	1
	定額年金	2	8.0%	0	1	1
	定額終身	10	40.0%	3	3	0
	外貨建	13	52.0%	2	3	1
	定額年金	2	8.0%	0	1	1
	定額終身	11	44.0%	2	2	0
合計		25	100.0%	5	7	2
平準払	年金	3	9.7%	0	0	0
	終身	2	6.5%	0	0	0
	学資	3	9.7%	0	0	0
	定期・収入保障	6	19.4%	0	0	0
	就業不能保障	1	3.2%	-1	0	1
	医療	11	35.5%	0	0	0
	がん	3	9.7%	0	0	0
	介護・認知症	2	6.5%	0	0	0
	合計	31	100.0%	-1	0	1

フォローアップ

- 秋田銀行では、「ご契約からがスタート」と考えており、お取引の内容と合わせて、日々変化していくお客さまのライフプランや運用方針を定期的に確認させていただいております。
- 投資信託や生命保険などの商品をご契約いただいているお客さまに対しては、定期的なフォローアップに加えて市場動向が大きく変動した場合等に適時適切なフォローアップを行っております。

お客さま本位の業務運営にかかるモニタリング

- お客さま本位の業務運営の実現と定着に向けて、「職員への適切な動機付け」「お客さまにご提供する商品が適切にラインナップされているか」「お客さまに適切な商品・サービスがご提供できているか」という3つの観点からモニタリングを実施しております。

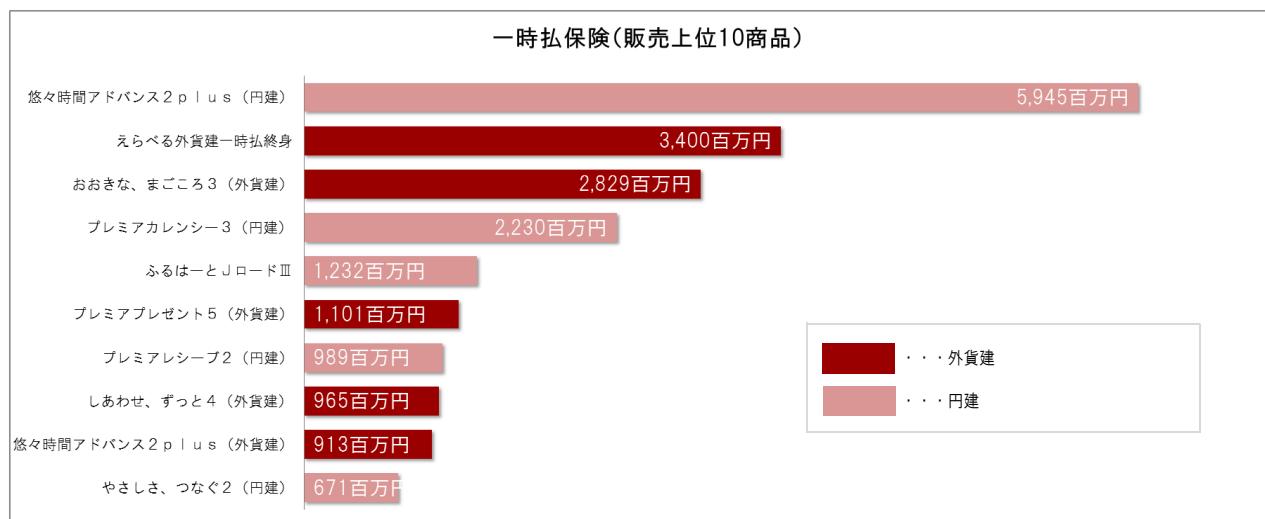
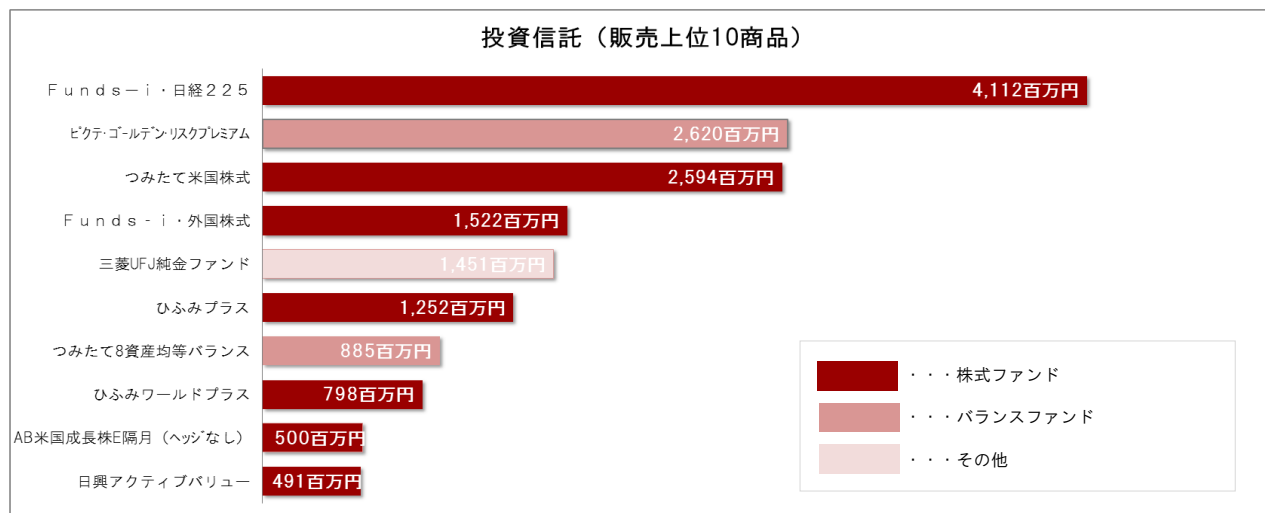


リスク性金融商品の販売にかかるモニタリング

- リスク性金融商品をご契約いただくご高齢のお客さまに対しましては、管理職の行員がお客さまの健康状態・これまでの投資経験・今後の運用方針などを確認させていただいております。

投資性商品の販売上位商品

- 秋田銀行では、お客さまのライフプランや資産運用ニーズに応じたご提案を行っております。



投資信託預り残高上位20銘柄

- 残高上位20銘柄中、18銘柄でリターンがコストを上回っており、5銘柄でリターンがリスクを上回っております。

2026年3月末

順位	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.08	13.74	7.72
②	ひふみワールド+	1.63	16.60	10.97
③	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	14.49	18.01
④	つみたて米国株式（S＆P500）	0.22	15.72	19.53
⑤	野村インデックスファンド・日経225	0.44	17.49	13.43
⑥	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	1.94	20.76	13.79
⑦	つみたて8資産均等バランス	0.24	8.26	9.07
⑧	インデックスファンド225	0.58	17.48	13.37
⑨	ビクテ・ゴールデン・リスクプレミアム・ファンド【愛称:ポラリス】	1.79	10.36	15.02
⑩	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（健次）	2.42	15.34	9.70
⑪	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)(毎月分配型)	1.05	8.19	5.69
⑫	三菱UFJ純金ファンド	0.99	19.22	29.47
⑬	まるごとひふみ100	1.34	13.65	8.93
⑭	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.35	8.82	4.10
⑮	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）	1.93	27.11	9.40
⑯	まるごとひふみ50	0.94	8.37	2.92
⑰	コモンズ30ファンド	1.08	14.40	9.93
⑱	グローバル・フィンテック株式ファンド	1.93	36.58	-0.73
⑲	ビクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	5.46	1.74
⑳	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	1.52	21.09	6.27

（注） 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）

2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示

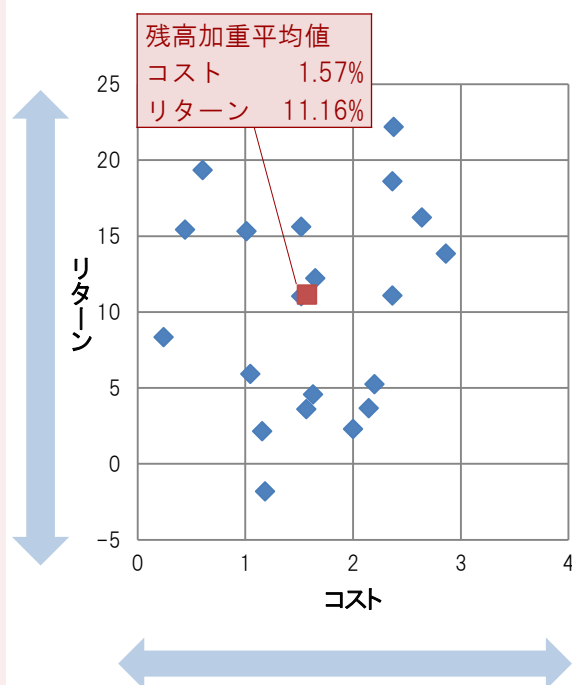
3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示

4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

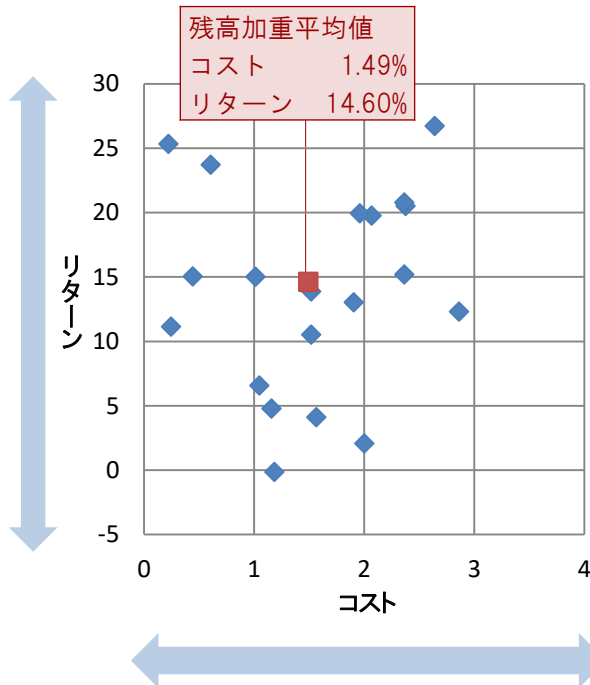
投資信託のリターン実績 (コスト・リターン)

- 残高上位20銘柄の残高加重平均コストは、低コストのインデックスファンド運用の需要が増加し、年々減少傾向となっております。

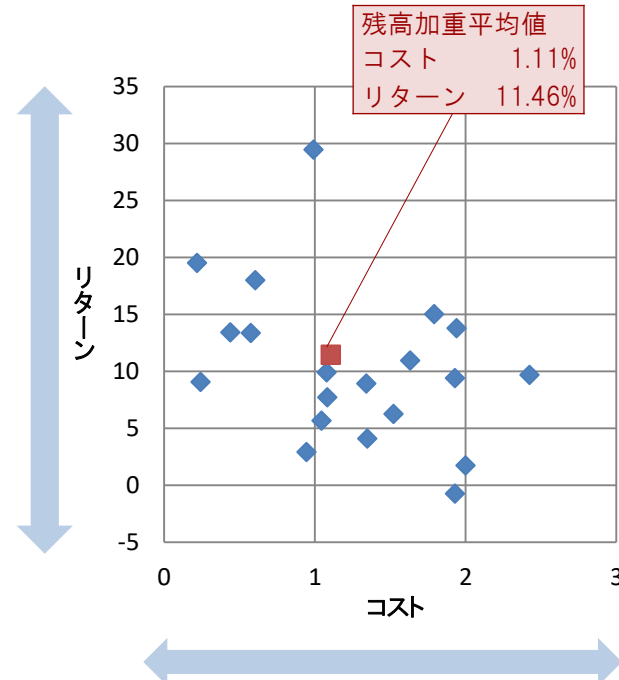
コスト・リターン (2024年3月末)



コスト・リターン (2025年3月末)



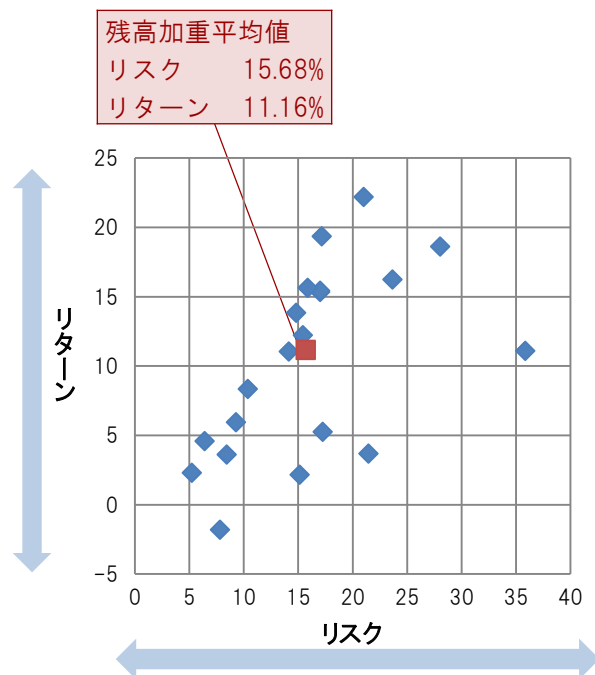
コスト・リターン (2026年3月末)



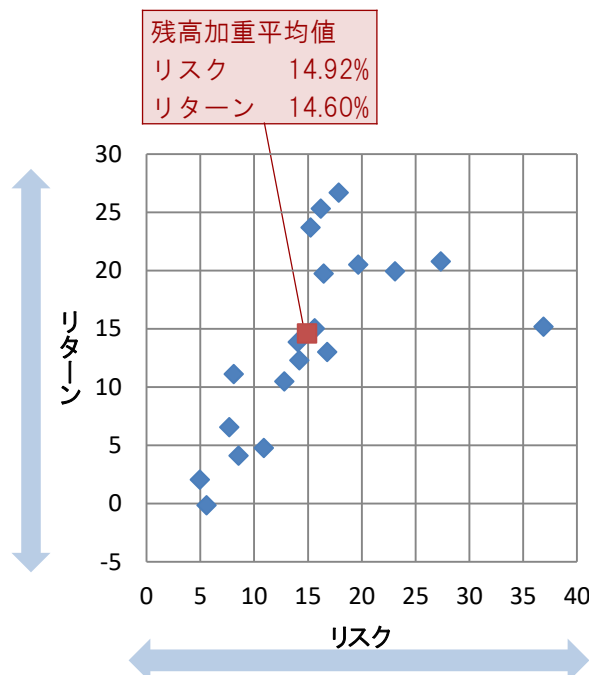
投資信託のリターン実績（リスク・リターン）

- 残高上位20銘柄の残高加重平均リスクは、比較的値動きの大きい株式ファンドの運用が中心となったことにより増加しております。

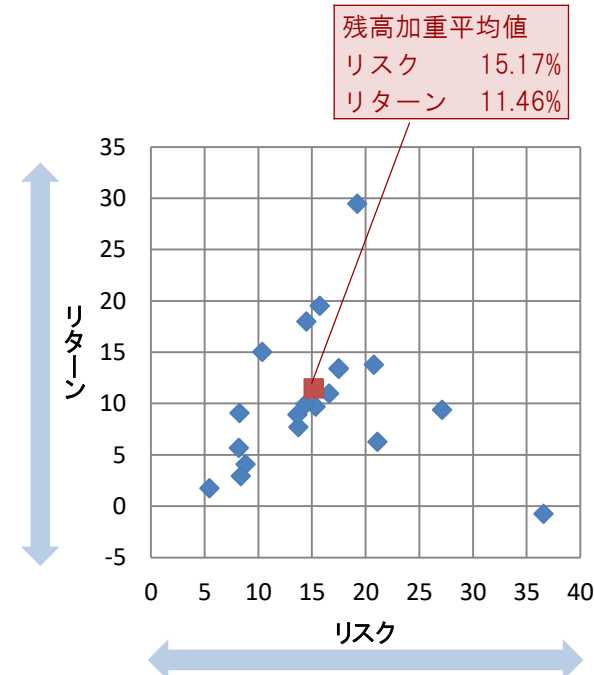
リスク・リターン（2024年3月末）



リスク・リターン（2025年3月末）



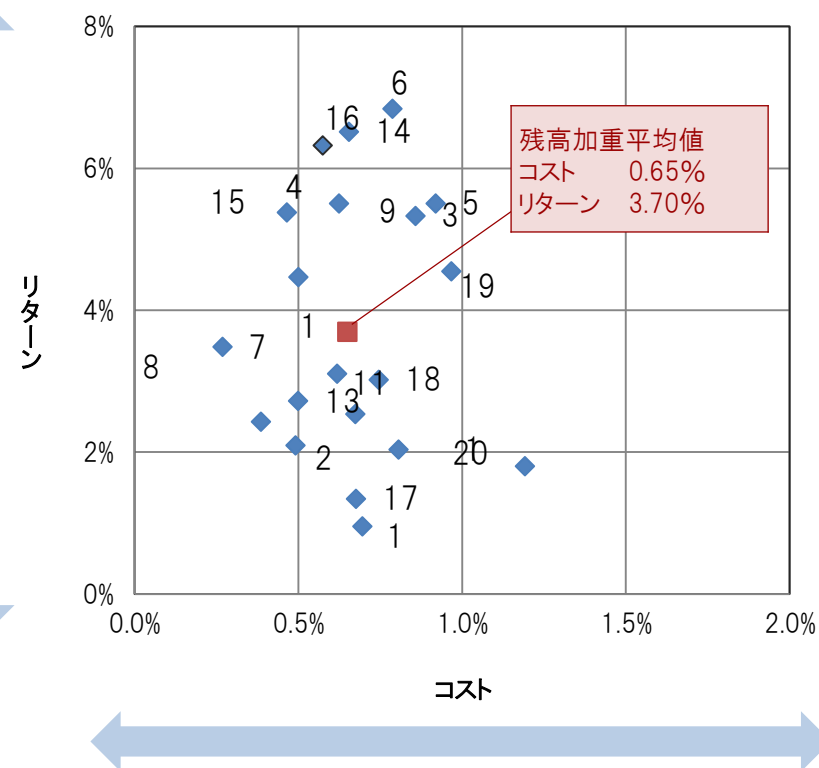
リスク・リターン（2026年3月末）



外貨建一時払保険のリターン実績 (コスト・リターン)

- 残高上位20銘柄中、すべての銘柄でリターンがコストを上回っております。

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアプレゼント	0.81%	2.04%
2	やさしさ、つなぐ	0.49%	2.10%
3	ロングドリームGOLD3	0.86%	5.33%
4	夢のプレゼント	0.47%	5.38%
5	しあわせ、ずっと2	0.92%	5.51%
6	ロングドリームGOLD2	0.79%	6.84%
7	ふるはーとJロードグローバル	0.27%	3.48%
8	ふるはーとJグローバル II	0.39%	2.43%
9	えらべる外貨建一時払終身(受け取るタイプ)米	0.62%	5.50%
10	たのしみ、ずっと	0.62%	3.11%
11	しあわせ、ずっと	0.67%	2.54%
12	おおきな、まごころ	0.70%	0.96%
13	プレミアレシーブ(外貨建)	0.50%	2.72%
14	外貨建・エブリバディプラス 米	0.65%	6.52%
15	えらべる外貨建一時払終身(贈るタイプ)米	0.50%	4.47%
16	夢のプレゼント2	0.58%	6.32%
17	外貨建・エブリバディプラス(円建移行)米	0.68%	1.34%
18	プレミアカレンシー・プラス2	0.75%	3.02%
19	あしたの、よろこび	0.97%	4.55%
20	悠々時間アドバンス2plus	1.19%	1.80%



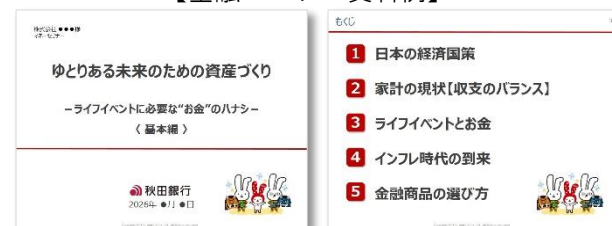
資産形成をサポートする積極的な情報発信

- 秋田銀行では、お客さまの金融リテラシー向上に向け、金融セミナーや金融経済教育の充実に取り組んでおります。企業などに勤務するお客さま向けのマネー講座セミナーのほか、幅広い世代を対象とした金融経済教育を実施し、将来に向けた資産形成について学ぶ機会をご提供しております。

【マネー講座セミナー】



【金融セミナー資料例】



マネー講座セミナーの実施状況

	回数		参加者数
		うちオンライン	
営業主催セミナー	123	0	1,563名
金融経済教育	34	0	1,078名
合計	157	0	2,641名

実施内容の一例

主なテーマ
ゆとりある未来のための資産づくり
こどもシゴト博2025in秋田(幼児～小学生)
親子でチャレンジ！あきぎんワクワク探検隊(小学生)
全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園秋田大会」(高校生)



【こども仕事博】



【あきぎんワクワク探検隊】



【エコノミクス甲子園秋田県大会】

お客さま接点の拡充と利便性の向上

- 「あきぎんアプリ」は、2026年3月末時点で196,984名のお客さまにご利用いただいております。今後もお客さまが抱えるお金の悩みや課題の解決に向けて、新たな機能・サービスの追加や改善を継続的に行い、利便性向上に努めてまいります。

お客さま本位の業務運営定着に向けた人材育成

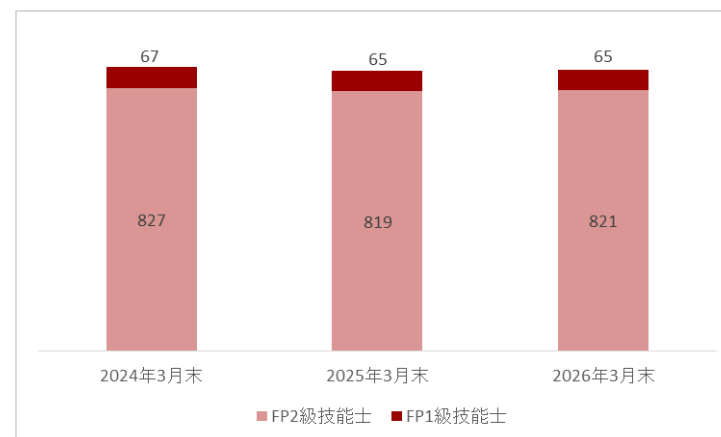
- 秋田銀行では、お客さま本位の業務運営方針に基づく行動計画に基づく活動を行うことにより、「安定的な資産形成を支援」することが、お客さまの「最良の未来の実現に貢献」するものと考えております。
- また、各研修・勉強会を通じて、お客さま本位の考え方の浸透をはかり、ライフコンサルティングを実践できる人材育成に取り組んでおります。
- 2025年11月から新たな取組みとして、担当しているお客さまの将来実現・課題解決に向けた提案内容を営業店と本部が検討する「個人コンサルティング検討会」を開催し、当行全体におけるコンサルティングスキルの向上に取り組んでおります。



【個人コンサルティング検討会】

F P 技能士 1 級・2 級資格保有者

- 高度なスキルと専門知識を有する人材を育成する観点から、ファイナンシャル・プランニング（F P）技能士資格を「コンサルティングの実践に必要な要件」として位置づけ2級以上の取得に向け取り組んでいます。F P 取得に向けた研修のほか、通信講座の受講を奨励するなど、積極的なF P 資格取得を後押ししております。



コンサルティング力の向上に向けた研修の実施

- お客さま本位についての考え方およびそれらを踏まえたお客さま対応のあり方を学んだうえで、お客さまの最善の利益を追求する営業活動を行っていくため、コンサルティング力向上に向けた研修を実施しております。

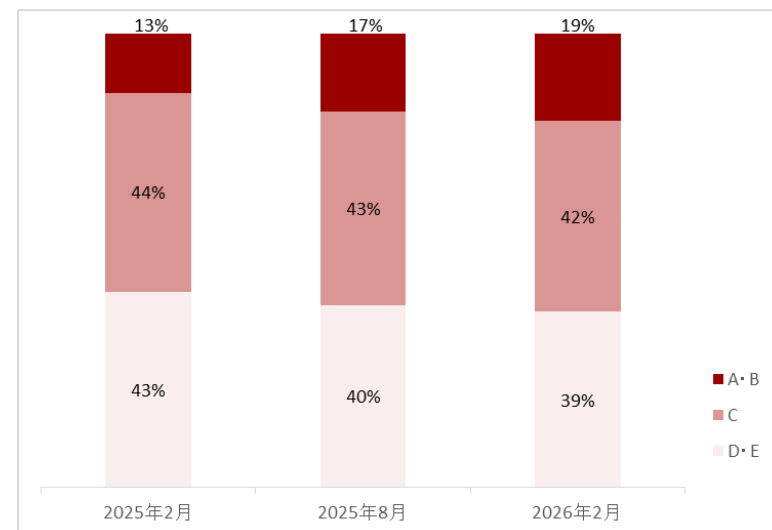
研修、自己学習プログラムの概要

研修	• 業務経験や階層に応じた集合研修 • 地区別のミーティング形式の研修 • 商品・テーマに応じたweb研修（運用会社・保険会社）
自己啓発	• スキルマップによる対応力向上 • 通信講座・eラーニング

スキルアップに向けた取組み

- 2023年度から導入している「スキルマップ」では、行員一人ひとりが強み・弱みを把握し、スキルレベルの向上をはかっております。
- 2026年2月のスキル判定では、継続的な研修や自己研鑽の取組みにより、上位ランク者は増加しております。
※スキルランク 5 段階（上位からA～E）

【ライフパートナースキル】



2025年3月末

	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.52	12.80	10.50
②	ひふみワールド+	2.07	16.47	19.75
③	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	15.26	23.70
④	つみたて米国株式（S＆P500）	0.22	16.19	25.31
⑤	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	2.86	14.21	12.31
⑥	野村インデックスファンド・日経225	0.44	15.63	15.04
⑦	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.38	19.68	20.51
⑧	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	7.71	6.56
⑨	インデックスファンド225	1.01	15.62	15.00
⑩	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.56	8.55	4.11
⑪	つみたて8資産均等バランス	0.24	8.10	11.13
⑫	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	4.97	2.06
⑬	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.37	36.90	15.19
⑭	ベイリー・ギフォードインパクト投資ファンド	1.96	23.10	19.93
⑮	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）	2.37	27.37	20.78
⑯	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	10.91	4.77
⑰	コモンズ30ファンド	1.52	14.05	13.86
⑱	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	1.90	16.79	13.01
⑲	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	5.58	-0.15
⑳	HSBCインドオープン	2.64	17.87	26.70

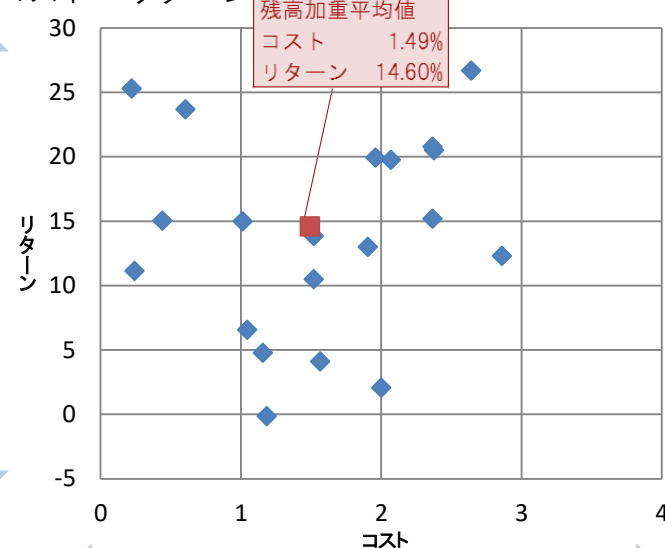
(注) 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）

2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示

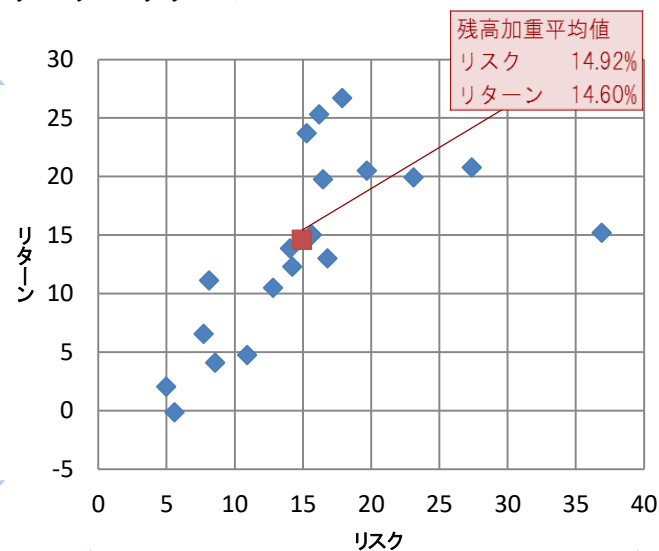
3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示

4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン



2024年3月末

	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.52	14.13	11.06
②	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.17	19.35
③	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.38	21.01	22.19
④	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	9.28	5.94
⑤	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.86	14.82	13.85
⑥	インデックスファンド225	1.01	17.02	15.33
⑦	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.56	8.43	3.62
⑧	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	5.23	2.31
⑨	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.37	35.86	11.09
⑩	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）	2.37	28.05	18.61
⑪	野村インデックスファンド・日経225	0.44	17.01	15.44
⑫	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	15.12	2.16
⑬	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.15	21.46	3.68
⑭	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.38	8.35
⑮	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.82	-1.80
⑯	コモンズ30ファンド	1.52	15.87	15.63
⑰	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）	1.63	6.40	4.59
⑱	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.20	17.24	5.26
⑲	HSBC インドオープン	2.64	23.67	16.23
⑳	D I A M世界好配当株オープン（毎月決算コース）	1.65	15.44	12.22

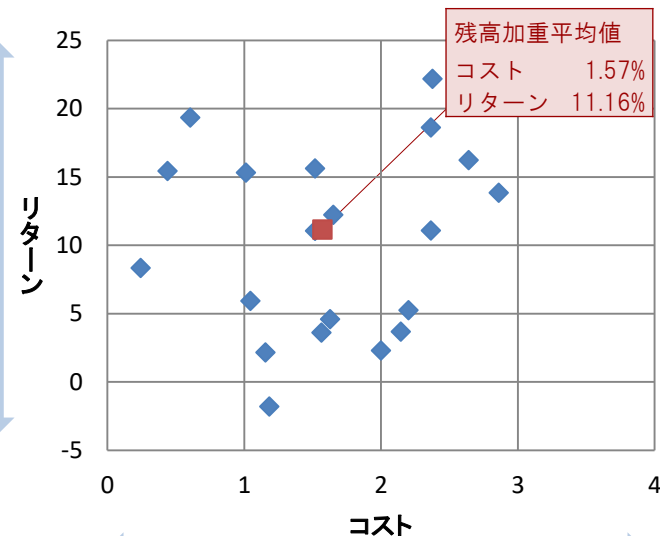
(注) 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）

2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示

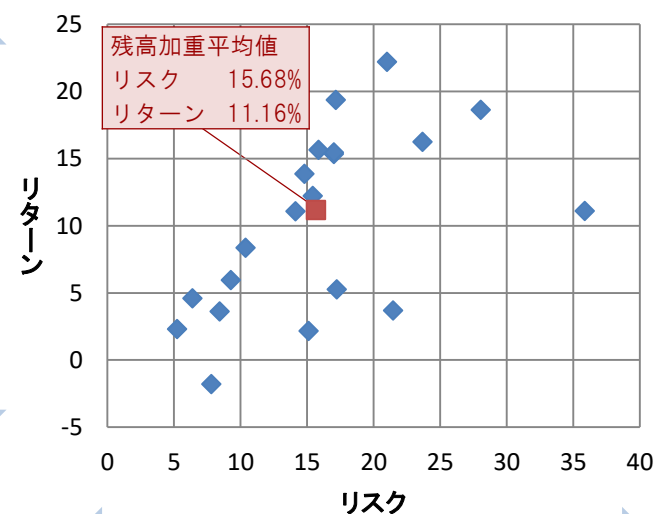
3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示

4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン

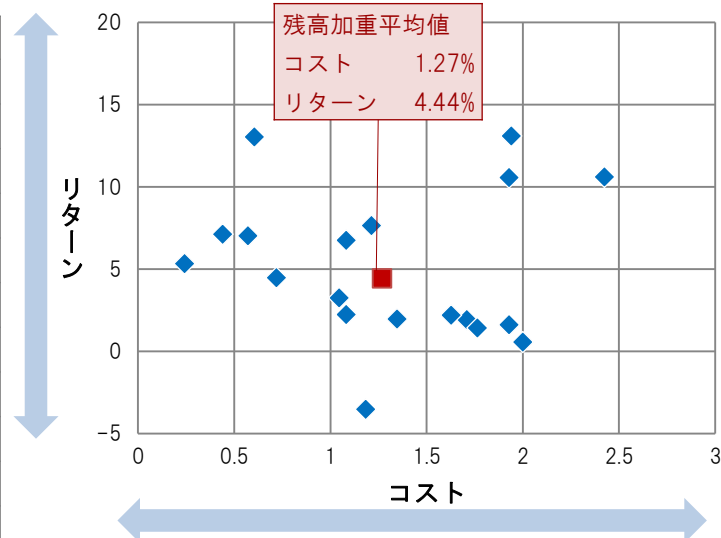


2023年3月末

	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
①	ひふみプラス	1.08	15.97	2.23
②	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.35	7.58	1.99
③	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	9.16	3.25
④	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	5.00	0.57
⑤	インデックスファンド225	0.57	17.06	7.03
⑥	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	1.94	21.45	13.09
⑦	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.97	13.03
⑧	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	0.72	14.85	4.48
⑨	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.76	-3.52
⑩	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.42	16.30	10.59
⑪	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）	1.93	27.04	10.56
⑫	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	1.71	21.39	1.92
⑬	グローバル・フィンテック株式ファンド	1.93	33.37	1.62
⑭	野村インデックスファンド・日経225	0.44	17.05	7.12
⑮	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.59	5.32
⑯	アジア・オセアニア好配成長株オープン（毎月分配型）	1.76	18.29	1.42
⑰	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）	1.63	6.23	2.20
⑱	コモンズ30ファンド	1.08	16.70	6.74
⑲	D I A M世界好配当株オープン（毎月決算コース）	1.21	16.33	7.65
⑳	高金利先進国債券オープン（資産成長型）	1.35	7.57	1.96

- (注) 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン

